兵庫県立大学ダイバーシティ推進室
News Letter
No.2
2023/4/10

令和４年度ダイバーシティ推進室の取組

本部の取組

女性研究者研究活動助成金

本学専任の准教授、講師、助教及び助手を対象に、研究活動・業績向上さらに上位職への登用の促進を目的として実施しました。本年度は、9 件の応募があり、うち 8 件、総額 2,399,000 円を助成しました。

国際商経学部	准教授	易　星星	「中国近代商業銀行の海外進出に関する研究」
工学研究科	助教	唐　佳藝	「PLD 法による金属酸化物担持 Pd 系合金ナノ粒子構造の制御とその触媒への応用」
工学研究科	准教授	古賀麻由子	「核融合燃料射出装置の開発」
理学研究科	助教	兼安　洋乃	「超伝導における時間反転対称性の破れた状態の理論研究」
理学研究科	准教授	佐々木桂奈江	「抗がん剤 OSW-1 によるゴルジ体ストレス依存的細胞死の解析」
環境人間学部	准教授	中出麻紀子	「大学生における朝食摂取の有無が計算能力、認知機能、疲労感等に及ぼす影響」
環境人間学部	助教	石坂朱里	「ケルセチンを摂取した乳児マウスにおける薬物代謝酵素の活性調節」
看護学部	准教授	谷田　恵子	「アジア太平洋６地域の若年成人を対象とした衝動性とゲーム障害との関係におけるマインドフルネスの媒介効果」

女性研究者発表会

実施日：7 月 28 日（木）13:00 ～ 16:00
場所：リモート開催（本部 中会議室）
参加者：学生・教職員 38 名含む　計 47 名

本学の女性研究者研究活動助成金制度が 4 年目を迎えるにあたり、本制度に採択され活躍中の女性研究者を代表し、6 名の先生に研究発表いただきました。本制度では、国際学会及び論文投稿等を推進するための支援を実施しており、その研究成果の発表と共に女性研究者支援の取組み紹介や女性研究者比率の現状等の共有も行いました。今回初の取組みでしたが、大半の部局から部局長はじめ、多くの教職員、学生に視聴いただき、支援制度等の理解向上に役立ちました。また、今後の共同研究につながる可能性が感じられる場面もありました。学長総評では、一人一人丁寧な感想と女性研究者の持つ大きな可能性や今後への期待が述べられました。

（実施会場の様子）

野﨑　安衣（工学研究科）准教授
「2 元系合金からの多孔質金属酸化物の調製と触媒反応への応用」
佐々木　桂奈江（理学研究科）准教授
「ゴルジ体ストレス応答の分子機構解析」
新保　奈穂美（緑環境景観マネジメント研究科）講師
「ツイート分析からみた COVID-19 蔓延下における公園に対する人々の反応の変化」
阪本　真由美（減災復興政策研究科）教授
「災害時の子育てをめぐる労働配分構造の変化と支援策の検討」
島田　良子（環境人間学部）助教
「レジスタントスターチ混合系食品の物性およびレジスタントスターチ量に関する研究」
タマシ　カルメン（国際商経学部）准教授
「儀礼、伝統と感染病ーコロナ禍における天神祭」

兵庫県立大学　ダイバーシティ推進室
〒651-2197 神戸市西区学園西町 8-2-1　神戸商科キャンパス　本部棟 1 階
TEL：(078)792-4822 ／ Email：diversity@ofc.u-hyogo.ac.jp
URL：https://www.u-hyogo.ac.jp/danjo/

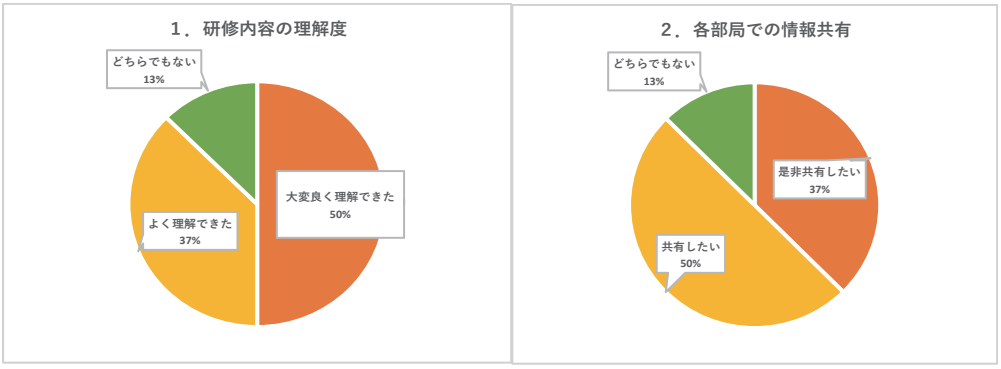
ダイバーシティ推進室へのご意見・ご要望等をお聞かせください。

幹部教職員研修

日　時：令和４年７月27日（水）13：50～14：50
場　所：本部大会議室
参加者：41名

本学の中期計画（～2025年度）に掲げた女性研究者比率25%の達成を目標に、名古屋大学副総長（多様性・男女共同参画担当）束村博子氏を講師に迎え、「大学活性化戦略としての女性研究者活躍推進の取組～名古屋大学の取組事例紹介を含めて～」をテーマに研修会を実施しました。日本における現在までの女性研究者支援の流れや「水漏れパイプ」といわれる上位職になるほど女性比率が減少している現状、さらにアンコンシャスバイアスが大きな弊害になっていることについて話されました。さらに名古屋大学で成果があった事例等を紹介し、大学における戦略を示されました。

【アンケート結果】



・テーマを示していただきながらの説明でとても興味深く聞かせていただきました。（教員）
・幹部研修として今回のテーマはとても有意義だと思います。（職員）
・ダイバーシティの推進には意識の改善が必要です。是非今後も研修をお願いします。（職員）
・名古屋大学の先導的な取組みを本学も積極的に取り入れるべきだと思いました。（職員）

（実施会場の様子）

第４回太田学長と女性研究者の集い

日　時：令和５年２月24日（木）13:30～15:30
場　所：兵庫立大学本部棟中会議室、オンライン配信
参加者：29名

女性研究者支援の一環として、女性研究者が学長に対して自己紹介を兼ねて、自身の教育・研究と社会貢献について発表を行い、さらに教育・研究活動、研究環境などについて直接意見交換を行いました。今回の発表は、①石坂朱里助教（環境人間学部）が「ケルセチンの研究について」、②大村佳代子准教授（看護学部）が「血友病患者や訪問看護、小児在宅ケア等の研究分野」、③田中キャサリン准教授（国際商経学部）が「ハンセン病文学」、④西野有里助教（理学部）が「顕微鏡を用いた微細構造の解析」と文理全体に亘る研究内容となり、学長が様々な視点で質問をされました。後半の懇談では、発表者それぞれが、自身の研究環境や子育てとの両立、必要と思われる子育て支援が話題となりました。また、女性教員の増員や上位職をめざす上での課題についても話題となりました。最後に学長から、発表者一人一人への日頃の労いと今後の期待を述べられました。

（実施会場の様子）

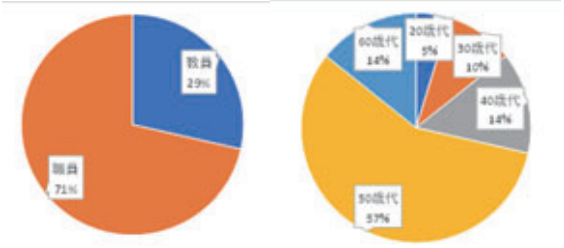
教職員対象研修

介護研修

日　時：令和 4 年 12 月 12 日（月）15：00 ～ 16：30
　　オンライン開催 2023 年 3 月末までオンデマンド配信
参加者：35 名

　教職員の仕事と生活との両立を支援するため、さらには介護離職防止の一環として一昨年度は幹部教職員研修として、昨年度は全教職員を対象として実施しました。本部総務人事から、本学の介護制度や取得事例の簡単な紹介の後、専門学校や短大・大学等で福祉・介護系科目の非常勤講師などを務め、また一般企業や地方自治体等で数多く研修しておられる湯浅美佐子氏を講師に迎え、介護研修の概要、さらにはかかる費用などの具体的な話を、事例なども交えての講義でした。さらに希望者を募って、個別相談も実施しました。

【アンケート結果】

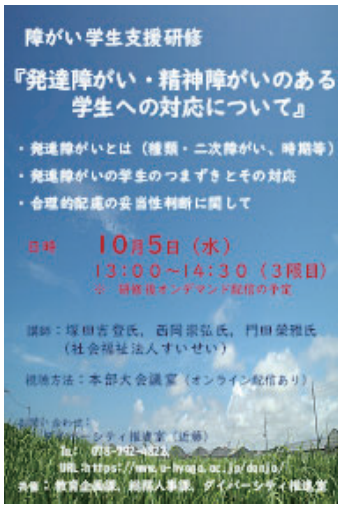


【自由記述】
・介護の制度の概略が聞けて参考になった。同じ悩みを抱えている人も多いのだと心を強くした。
・大変有意義で役に立った。ぜひ継続して実施してほしい。
・いずれは必ず自分事になるので、こういった機会は活用したいと思う。

障がい学生支援研修

日　時：令和 4 年 10 月 5 日（水）13:00 ～ 14:30
場　所：大会議室での視聴及びオンライン配信　　R5 年 3 月 31 日までオンデマンド配信中
参加者：本学教職員 156 名（配信当日）

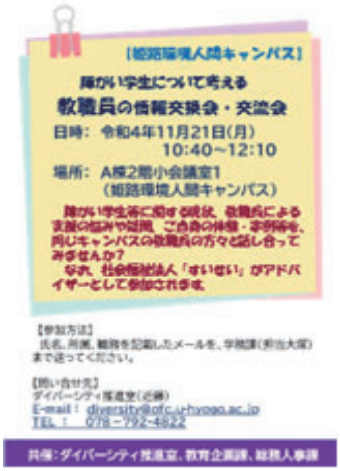
　本学教育企画課が契約している社会福祉法人すいせいに依頼し、昨年度に引き続き、教職員を対象にした修学支援（一部就労支援を含む）に関する研修を行いました。今年度は精神障がい・発達障がいに重点を置き、多くの参加者において理解を深めました。



キャンパスごとの障がい学生支援に関する座談会

　ダイバーシティ推進室が主となり、関連する教育企画課、総務人事課と共催し、4 つのキャンパスで実施しました。参加した教職員は、各キャンパスの現状や課題について、意見交換を行いました。また、アドバイザーとして出席した本学と契約している社団法人「すいせい」の担当者が、質問や疑問に対応しました。

座談会実施キャンパス
・播磨理学キャンパス（参加者 10 名）
・姫路工学キャンパス（参加者 11 名）
・姫路環境人間キャンパス（参加者 10 名）
・神戸商科キャンパス（参加者 9 名）



英語スキルアップ研修

女性研究者の上位職登用促進および国際的な活躍を目的とし、国際学会、外部資金獲得等につながるスキルアップの支援として２日間で計４回の講義をオンラインで開催しました。オンラインのため対象は男女問わず全教員としました。講師、助教、大学院生中心に延べ 46 名の若手研究者に参加いただきました。その後、教員全員を対象に１か月間の録画配信を行いました。

＜講義＞

第１回：2022 年 11 月 10 日
講師：富田洋介氏（CACTUS 講師）
適切な論文投稿先の選定「オープンアクセスの基礎知識とハゲタカジャーナルを避ける方法」を含めて（講義：日本語）
参加者 10 名

第２回：2022 年 11 月 10 日
講師：富田洋介氏（CACTUS 講師）
学術論文の基本構造「研究論文における問題提起の書き方を学ぶ」を含めて（講義：日本語）
参加者 14 名

第３回：2022 年 11 月 24 日
講師：富田洋介氏（CACTUS 講師）
レビュアーコメントへの対策方法（講義：日本語）
参加者 12 名

第４回：2022 年 11 月 24 日
講師：アリアナ・フェリーニ氏（CACTUS 講師）
成功した出版著者になる方法（講義：英語）
参加者 10 名

英語によるプレゼンテーションワークショップ

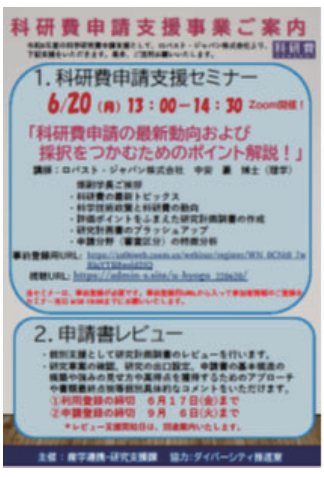
対象：助教・ポスドク・博士後期課程の学生
日時：　２０２３年２月１５日（木）１３：３０~１４：３０
講師：　富田洋介氏（CACTUS 講師）
参加者：４名（発表者２名を含む）

事前に発表資料を準備いただき、各自発表し、講師からアドバイスを受けました。専門の講師の方に直接指導いただく機会はなかなかないので非常に参考になりました。Tips を体系化して教えてもらえたり、改めて Introduction の構成について学ぶことができ大変参考になりました。

科研費獲得講座

日時：令和４年６月 20 日（月）13:00-14:30　　リモート開催
講師：ロバストジャパン（株）中安豪氏（代表取締役、理学博士）
参加者： 51 名

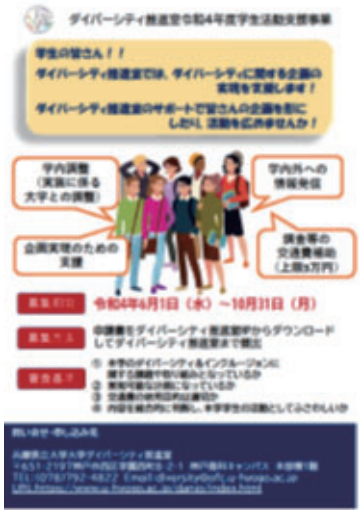
６月 20 日（月）~10 月 31 日（月）の期間、科研費獲得講座をオンデマンド配信しました。科研費申請書レビューと並行して「科研費申請の最新動向および採択をつかむためのポイント解説」について講義をいただきました。



学生活動支援

募集期間：令和４年６月１日～10 月 31 日
活動期間：12 月末まで

本学学生グループによるダイバーシティに関連した活動を支援することにより、学生のダイバーシティ＆インクルーシブマインドの育成を図りました。ダイバーシティ推進（人種、宗教、価値観、性別、障がい者、ライフスタイル等）に関連した学生の活動に対し、支援を行いました。活動成果として次の学生活動グループ発表会を開催しました。

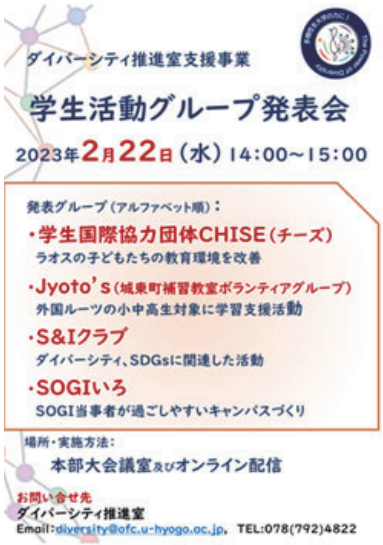


学生活動グループ発表会

日　時：令和５年２月 22 日（水）14:00 ～ 15:00
場　所：本部大会議室もしくはオンライン配信
対　象：幹部教職員および全学教職員

幹部教職員に対して登録４団体の活動報告会と奨励賞授与を実施しました。

14:00 ～ 14:05　ダイバーシティ推進室長挨拶
14:05 ～ 14:45　活動報告
14:45 ～ 15:00　奨励賞授与と学長の総評



当日、４団体（S&I クラブ、SOGI いろ、CHISE、Jyoto`s）から代表各２名が出席して、発表と質疑応答の進行をしました。各グループの活動成果は、対外的にも認められ、下記の受賞や評価に繋がりました。日頃の活動努力や成果と本学のイメージ向上に大いなる貢献を行った栄誉を称え、学長より表彰状を授与いただき、学内への波及を拡げる機会となりました。

＊日経 STEAM パナソニック賞（S&I クラブ）、知の交流シンポジウム・優秀ポスター賞、環境人間フォーラム・SDGs 賞（SOGI いろ）、（株）パデコ主催ビデオコンテスト金賞（CHISE）、三菱 UFJ 銀行姫路支店より助成金を獲得（外国人の子ども達への職業体験プロジェクトを実施予定）（Jyoto`s）、等。

リコチャレ

内閣府男女共同参画局運営の、女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進する「理工チャレンジ」の趣旨に賛同しリコチャレを実施しました。たつの市・姫路市からの呼びかけにより、女子中学生が理系分野に興味・関心を持ち、実験・交流会を通して将来をイメージして進路選択できるよう理系の魅力を伝えることとなりました。たつの市から 33 名、姫路市から 27 名が参加し、学内見学や実験見学、在学生との交流イベントを実施しました。

【実験見学内容】

1.「有機合成って何？合成色素を作って有機合成を学ぼう」
医薬品や食品・工業製品などを作る技術である有機合成を知り、合成実験を体験
2.「ウイルス検査から DNA 鑑定まで幅広く請け負うすごい技術、PCR に挑戦！」
DNA の特定領域を増幅させる技術 PCR について、その原理と実験操を学ぶ

分室の取組

神戸商科キャンパス

イベント名：男女ともに働きやすい雇用環境の実現（講義）
実施日：2022 年 11 月 9 日（水）10:40 ～ 12:10
学生及び教職員を対象として、働く女性の現状や、女性活躍推進が求められる背景、男女雇用機会均等法の概要、女性活躍推進法に基づく企業の取り組み、職場でのハラスメント対策等について、兵庫県労働局雇用環境・均等部長の小田江理子氏を講師にお招きしお話をうかがいました。様々な雇用環境や法制度を知る機会となり、現状（女性の働き方などに関するデ―タ・課題）とも照らし合わせながら、これからの男女ともに働きやすく生産性の高い雇用環境について考察する機会となりました。

姫路工学キャンパス

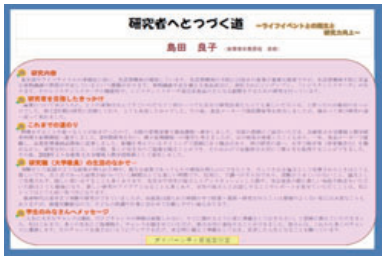
イベント名：工学ガールのためのサマー café
実施日：2022 年 8 月 11 日（木）14:00 ～ 15:00
3 年ぶりの実施と猛暑ながら、期待を上回る参加者が集まりました。参加女子高生からのアンケート結果から、進学学部決定の決め手や受験勉強、具体的な学生生活、研究室での研究内容、就職活動の有利性及び社会人としての生活などについての講演、フリートークでの質疑応答などが「工学部って考えていたよりも良い」とあり、好感度が高かったようです。フリートークは、盛んに質問が出され、充実した様子でした。

播磨理学キャンパス

イベント名：セミナー「ヴィジュアル系サイエンスのすすめ
～叡智の光と魔法の杖と導きの鍵で切り開く低次元物性の世界～」
講師：永村直佳氏（物質材料研究機構主任研究員）
日時：2023 年 1 月 18 日（水）15：00 ～ 18：30
参加人数：66 名（学生 54 名、教職員 12 名）
学生への大学院進学やアカデミック及び企業での理系研究者進路へのエンカレッジを目的に、NIMS 永村直佳先生に、物理・化学系研究と自身の進路選択時の考え、大学院進学、博士取得後の研究機関でのキャリアなどについて講演いただいた。女子学生懇談会では、理系アカデミックキャリアや企業研究者として、遠方への配属移動、家庭や子育てをしながら研究活動を進めていけるか等の質問がありいました。女性研究者や女性教員とキャリアについて話す機会があることを望んでいるとの要望も寄せられました。

姫路環境人間キャンパス

イベント名：環境人間学フォーラム　ロールモデル紹介
実施日：2022 年 11 月 10 日（木）
“「研究者」という進路～ライフイベントと研究との両立～“というテーマで環境人間学部の島田良子先生と半澤史聡先生に、研究者を目指したきっかけやこれまでの経験、学生へのメッセージ等について、ライフイベントと研究活動との両立の視点から発表を行っていただきました。昨年同様オンラインでの開催でしたが、事前収録した発表動画を特設サイトからオンデマンドで配信し、より多くの方に視聴いただきました。



明石看護キャンパス

イベント名：プレゼンテーションの工夫～スライド作成テクニック～
日時：2022 年 12 月 16 日（金） 12：00 ～ 13：30
講師：石木寛人氏（国立がん研究センター中央病院）
スライド作成テクニックについての講演後、事前質問の中から「ポスターの作り方」「表の作り方」「英語スライの作り方」の 3 点に対して、説明された。アンケートから、スライド作成テクニックや作成について、多く参加者が役立つと回答がありました。他学部からの参加希望者が全体の 30%を占め、全学的にも大変好評でした。

神戸情報キャンパス

イベント名：ダイバーシティ＆インクルージョンセミナーニューロダイバーシティに関する
基礎知識 ～基本発想から教育、就労との関わりまで～ ZOOM 開催
日時：2022 年 11 月 16 日（水） 15：00 ～ 16：00
講師：一般社団法人子ども・青少年育成支援協会代表理事 村中直人氏（臨床心理士、公認心理士）
ニューロダイバーシティ（Neurodiversity、神経多様性）を理解し、発達障害のある学生の教育現場での支援から就労との関わりまでを学び、考える機会となりました。

淡路緑景観キャンパス

イベント名：ヤングケアラーを知り共生できる社会へ
実施日：2023 年 2 月 21 日（火）14:40 ～ 16:10
講師：兵庫県社会福祉士会会長 岡本和久氏
クラスに１人～２人いるとされるヤングケアラー、昨今ヤングケアラーへの関心が高まりつつあり、複雑な状況にあるヤングケアラーについて、神戸市のヤングケアラー支援部署の立ち上げに尽力等され、豊富な経験を踏まえわかりやすく講義いただきました。

豊岡ジオ・コウノトリキャンパス分室

イベント名：ダイバーシティ推進セミナー
キャンパス・職場・地域のダイバーシティを知るセミナー（女性研究者編）
実施日：2023 年 2 月 17 日（金）14:00 ～ 16:00
講師：神戸大学 農学研究科 特命教授 ツェンコヴァ ルミャナ氏
1990 年ブルガリアから日本へ来日後、日本語を学びながら博士号を取得、神戸大学男女共同参画推進室長として女性研究者支援を推進してきたツェンコヴァ ルミャナ講師に、女性研究者として外国出身、かつ女性という壁を乗り越えて、何に悩みどう行動してきたかお話をうかがいました。

神戸防災キャンパス

イベント名：「学生と地域住民によるユニバーサルデザインを用いた洋服制作勉強会＆
ワークショップの開催」
実施日：2022 年 11 月 12 日（土）10:00 ～ 15:00
障害を持った人々や高齢者等が防災時などで活用できるユニバーサルデザイファッションに着目し、学生（若い世代）と地域住民がユニバーサルデザインに配慮した洋服づくりに取り組む勉強会とワークショップを実施しました。障害を持った人々や高齢者等が防災時などで活用でき、気持ちを明るくすることのできるユニバーサルデザインファッションに多くの人が関心を持っていただけ、大きな成果につながりました。

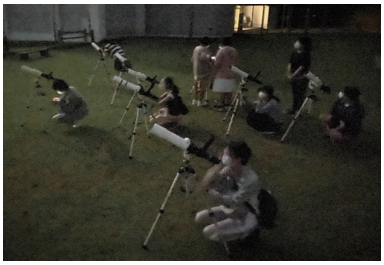
体　制　図

ひらめき☆ときめきサイエンス ～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI 日本学術振興会

ひらめき☆ときめき サイエンスとは？

大学や研究機関で「科研費」により行われている最先端の研究成果に、小学５・６年生、中学生、高校生の皆さんが、直に見る、聞く、触れることで、科学のおもしろさを感じてもらうプログラムです。

ダイバーシティ推進室では、毎年、ひらめき☆ときめきサイエンスに採択されたプログラムに対して、次世代育成の一環で協力をしています。今年度は、工学研究科の遊佐真一准教授と自然・環境科学研究所の伊藤洋一教授が採択されました。参加者の多くが女子だったこともあり、女子中高生の理系進路選択支援にもなりました。

テーマ：「身近な水溶性高分子のひみつ」（遊佐真一　工学研究科・准教授）
日　時：令和 4 年 8 月 27 日（土）
参加者：12 名
場　所：姫路工学キャンパス 5 号館 5204 室
内　容：中学生の参加者が 12 名のうち 11 名と多く、中学生の大学見学の貴重な機会となりました。水溶性高分子についてのわかりやすい講義後、参加者は白衣、保護メガネ着用で実験を行い、最後は遊佐教授からひとりずつ修了証書の授与をうけました。懇親会タイムでは大学生の「なぜ理系を目指したのか」のスピーチにふれ、参加者の将来の進路決定に役立つと期待されました。

テーマ：「日本一の望遠鏡で天体観測」（伊藤 洋一　自然・環境科学研究所 教授）
日　時：令和 4 年 8 月 8 日（月）～ 10 日（水）
参加者：35 名（うち 26 名が女子高校生）
場　所：兵庫県立大学 西はりま天文台
内　容：高校生向けの天体観測合宿を開催し 35 名の高校生が参加しました。兵庫、大阪、京都、和歌山などのみならず、愛知県や静岡県から参加もありました。あいにく曇りの天気でしたが、「なゆた望遠鏡」や 60cm 望遠鏡を使って天体を観測することができました。最終日には受講生のとびきりの笑顔を見ることができました。今回で天体観測実習は今 7 回目になりますが、今までに、参加した女子 4 名が兵庫県立大学理学部に入学しています。